



イスタンブール経済の概要

2022年4月

在イスタンブール日本国総領事館



CONSULATE GENERAL OF JAPAN
ISTANBUL

1 基礎情報（1）：地理的位置

- ◆ イスタンブールは、ボスポラス海峡を挟んでアジア大陸とヨーロッパ大陸の二つの大陸にまたがる世界で唯一の都市。
- ◆ 四方をヨーロッパ、中央アジア、中東、ロシアに囲まれ、地政学的に重要な位置。



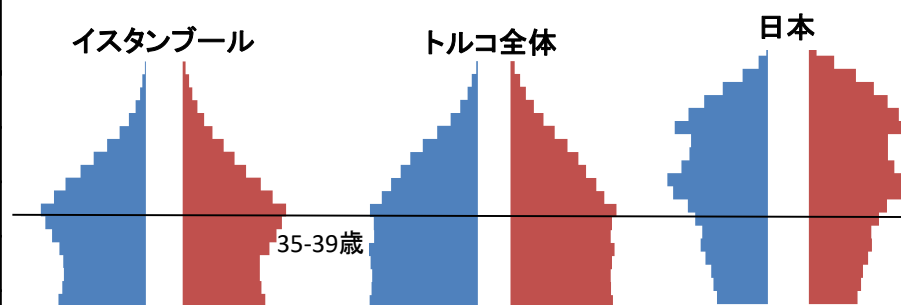
1 基礎情報（２）：経済・消費の中心地

- ◆ 4大財閥(コチ、サバンジュ、ドウシュ、ドアン)を含む多数のトルコ企業、大部分のメディア(※国営のアナトリア通信及びTRTはアンカラ)や経済団体の本部がイスタンブールに所在。
※2021年1月、経済協力開発機構(OECD)が、5つ目の地域センターをイスタンブールに設置。
- ◆ トルコ唯一の証券取引所(ボルサ・イスタンブール)が置かれ、2022年内には、国際金融センターが開設予定。
- ◆ イスタンブールの家計消費支出は、トルコ全体の約3割(2019年:28.6%、トルコ統計庁)。
- ◆ トルコ全体の人口(約8,400万人)のうち、イスタンブールの人口は約1,580万人(2021年、トルコ統計庁等)
- ◆ イスタンブールの生産年齢人口(20～50歳)の割合は、地方からの人口流入等により全国平均より大きい。

人口と面積（2021年）

	人口 (万人)	人口比率 (自国内)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)	平均年齢 (中央年齢)
トルコ全体	8,468	-	785,347	108	33.1
イスタンブール	1,584	18.5%	5,313	2,976	-
アンカラ	575	6.8%	2,516	2,285	-
ロンドン	922	13.5%	1,572	5,865	35.6
東京	1,396	11.2%	2,188	6,380	44.3
日本全体	12,512	-	377,972	333	48.9

人口構造



出典:トルコ統計庁、総務省統計局、東京都等

2 交通

- ◆ **空路**: ハブ的位置付け＝4時間以内でヨーロッパ、中東等の主要都市に到達できる。
 - ・ 2018年10月、世界最大規模の空港として**イスタンブール空港(IST)**が開港。2019年4月、従来のアタテュルク空港が閉鎖され、空港機能が完全移転。
 - ・ アジア側の**サビハ・ギョクチェン空港(SAW)**は、LCC及び国内線がメイン。
 - ・ トルコー日本間の直行便は、イスタンブールー羽田間が毎日1便(2022年4月時点)。
- ◆ **海路**: ボスポラス海峡は北の黒海、南のマルマラ海を結び、マルマラ海とエーゲ海を繋ぐダーダネルス(チャナッカル)海峡と合わせ、黒海と地中海の間の海上交通の要衝。
- ◆ **市内交通**: 地下鉄、メトロバス(中心部と郊外を結び、専用道路を走行)、路線バス、ドルムシュ(乗り合いミニバス)、定期船(ボスポラス海峡を横断、10-30分間隔で運航)が市民の足。
 - ・ 車両数の増加(2021年のトルコの新车登録台数は約115万台)等に起因する、イスタンブールの渋滞はタイムロス等の観点から世界ワースト1位ともされている。(TOMTOM Traffic Index, 2021年)
 - ・ 市内地下鉄網は現在9路線。延伸・新規路線建設工事が継続(IST及びSAW空港には未接続)。
 - ・ 2019年2月、トルコ国鉄の海峡横断鉄道(マルマライ)がヨーロッパ側・アジア側の郊外路線と接続し、全長76kmのイスタンブールを横断する鉄道路線が運営開始。



イスタンブール空港を拠点とするターキッシュ・エアラインズ



ボスポラス海峡の年間航行船舶数は4万1,112隻(2019年)



アジア側とヨーロッパ側を鉄道で結ぶマルマライ(トルコ国鉄)

イスタンブールから主要都市までの所要時間



イスタンブール市内空港年間利用実績(国内・国際線合算)

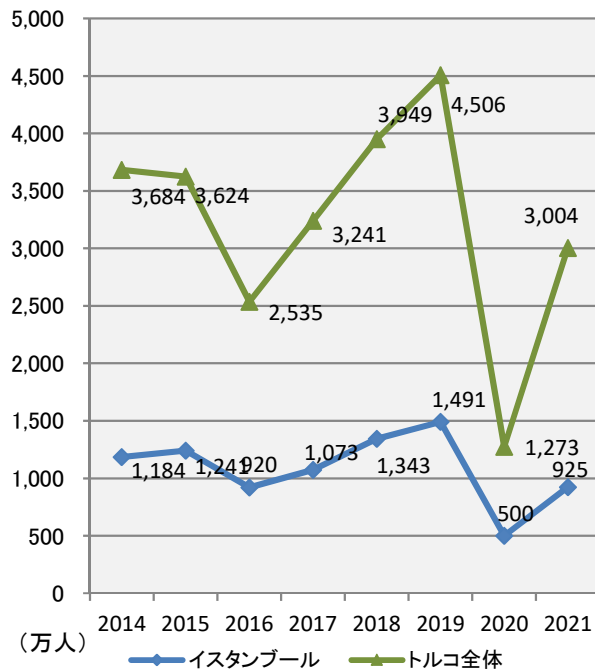
空港名	利用旅客数(万人)			
	2018年	2019年	2020年	2021年
イスタンブール空港	9.5	5,201	2,341	3,718
サビハ・ギョクチェン空港	3,413	3,556	1,695	2,497
アタテュルク空港 (2022年2月に貨物便が停止し、特別便のみ)	6,835	1,611	—	—

(参考) 東京の空港の年間利用客数 (2019年) 成田: 4,434万人, 羽田: 8,555万人

3 観光

- ◆ イスタンブールは魅力ある歴史・文化遺産によって、世界屈指の観光都市としても知られる。
- ◆ トルコを訪問する外国人の3割以上(日本人については8割以上)がイスタンブールを訪問。
- ◆ 2015～2016年は治安情勢の悪化によりトルコへの訪問者数が減少したが、2017年以降は前年の訪問者数を上回る回復ぶりをみせている(※2020年以降は、新型コロナウイルスによる影響あり)。イスタンブールは、欧州諸国やロシアに加え、イラン、イラク及びサウジアラビアなどの中東諸国からの観光客が多い。
- ◆ 現代的ショッピング・モールでの買物や、欧米に比べて安価な医療を目的とした訪問者も増加。

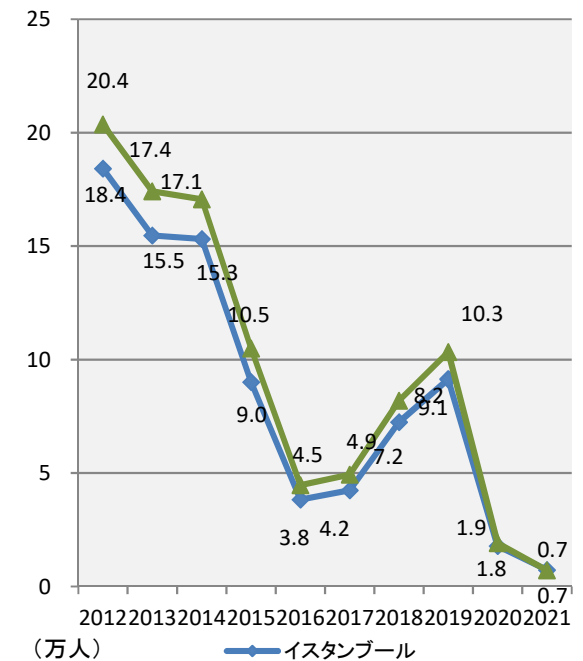
外国人訪問者数の推移



イスタンブールへの訪問者数国別順位

順位 (2021年)	国	2019年	2020年	2021年
1	ドイツ	1,111,561	410,262	832,915
2	イラン	923,138	233,121	769,127
3	ロシア	721,719	421,475	747,285
4	フランス	677,144	226,650	379,572
5	イラク	508,669	138,142	340,323
6	ウクライナ	489,796	199,907	335,620
7	米国	459,909	136,796	324,031
8	オランダ	444,891	144,123	259,774
9	ウズベキ スタン	378,172	92,220	232,859
10	英国	337,679	236,402	229,876
73	韓国	193,205	33,896	15,019
90	日本	91,317	17,901	7,236
イスタンブールの訪問者 合計		14,906,663	5,001,981	9,025,004
トルコ全体の訪問者数		45,058,286	12,734,213	30,038,961

日本人訪問者数の推移



出典:トルコ文化観光省、Provincial Directorate of Culture and Tourism (Istanbul)、報道

4 主な経済指標

- ◆ イスタンブールは、トルコ全体のGDPの約3割を創出。一人当たりのGDPは、トルコ平均の2倍弱。
- ◆ 主要産業はサービス業で、産業全体の約70%を占める。
- ◆ 貿易では、輸出入共にトルコ全体の約50%を占める。

（参考1）【イスタンブールのGDP(2020年)】

トルコの名目GDPに占めるイスタンブールの割合	30.1%
(参考・2019年) 総領事館管轄18県の占める割合	57.5% (人口比42%)
イスタンブールの1人当たりのGDP	約\$14,000 (97,950トルコリラ) (トルコ平均 \$8,536)

出典:トルコ統計庁、イスタンブール開発庁

（参考2）【国別の名目GDP】

順位	国	2020年(億ドル)
1	米国	209,530
2	中国	147,227
3	日本	50,578
18	スイス	7,522
19	トルコ	7,200
20	サウジアラビア	7,001
27	ア首連	4,211
50	イラン	1,918

出典: 世銀

（参考3）【イスタンブールの産業別構成比(2020年)】

	農業	工業	サービス業
イスタンブール	0.1%	23.4%	66.5%
トルコ全体	6.6%	27.8%	54.6%

出典:トルコ統計庁

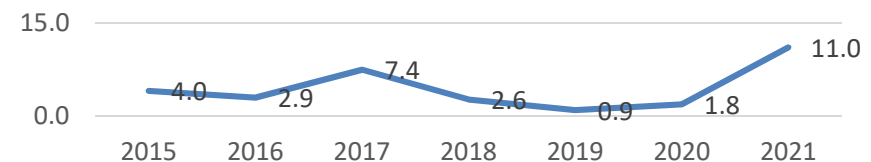
（参考4）【イスタンブールの輸出入額(2021年)】

(単位: 億米ドル)	輸出額	輸入額
イスタンブール	1,088 (48.3%)	1,382 (50.9%)
トルコ全体	2,253	2,714

※カッコ内はトルコ全体に占める割合

出典:トルコ統計庁、TIM

（参考5）【トルコの実質GDP成長率(各年毎・%)】



出典: 世銀、トルコ統計庁

【参考】トルコの貿易

○トルコの主要貿易相手国(2021年)

＜貿易総額＞

順位	国	金額	割合
1	ドイツ	410.8	8.3%
2	中国	359.0	7.2%
3	ロシア	347.3	7.0%
4	米国	278.7	4.9%
5	イタリア	230.4	4.6%
14	韓国	85.8	1.7%
23	日本	49.2	1.0%
総額		4,966.8	

＜輸出額＞

順位	国	金額	割合
1	ドイツ	193.2	8.6%
2	米国	147.2	6.5%
3	英国	137.1	6.1%
4	イタリア	114.7	5.1%
5	イラク	111.3	4.9%
17	中国	36.6	1.6%
47	韓国	9.9	0.4%
70	日本	5.3	0.2%
総額		2,252.6	

＜輸入額＞

(単位:億ドル)

順位	国	金額	割合
1	中国	322.4	11.9%
2	ロシア	289.6	10.7%
3	ドイツ	217.6	8.0%
4	米国	131.5	4.8%
5	イタリア	115.6	4.3%
8	韓国	76.0	2.8%
13	日本	43.9	1.6%
総額		2714.2	

出典:トルコ統計庁

○トルコの主要貿易品目(2021年)

(単位:億ドル)

順位	品目	輸出額	割合 (対輸出総額)
1	自動車及び自動車部品	250.2	11.1%
2	ボイラー・機械類及び部品	207.8	9.2%
3	鉄鋼	170.6	7.6%
4	電気機器及び部品	120.1	5.3%
5	宝石・貴金属	109.6	4.9%
総額		2,252.6	

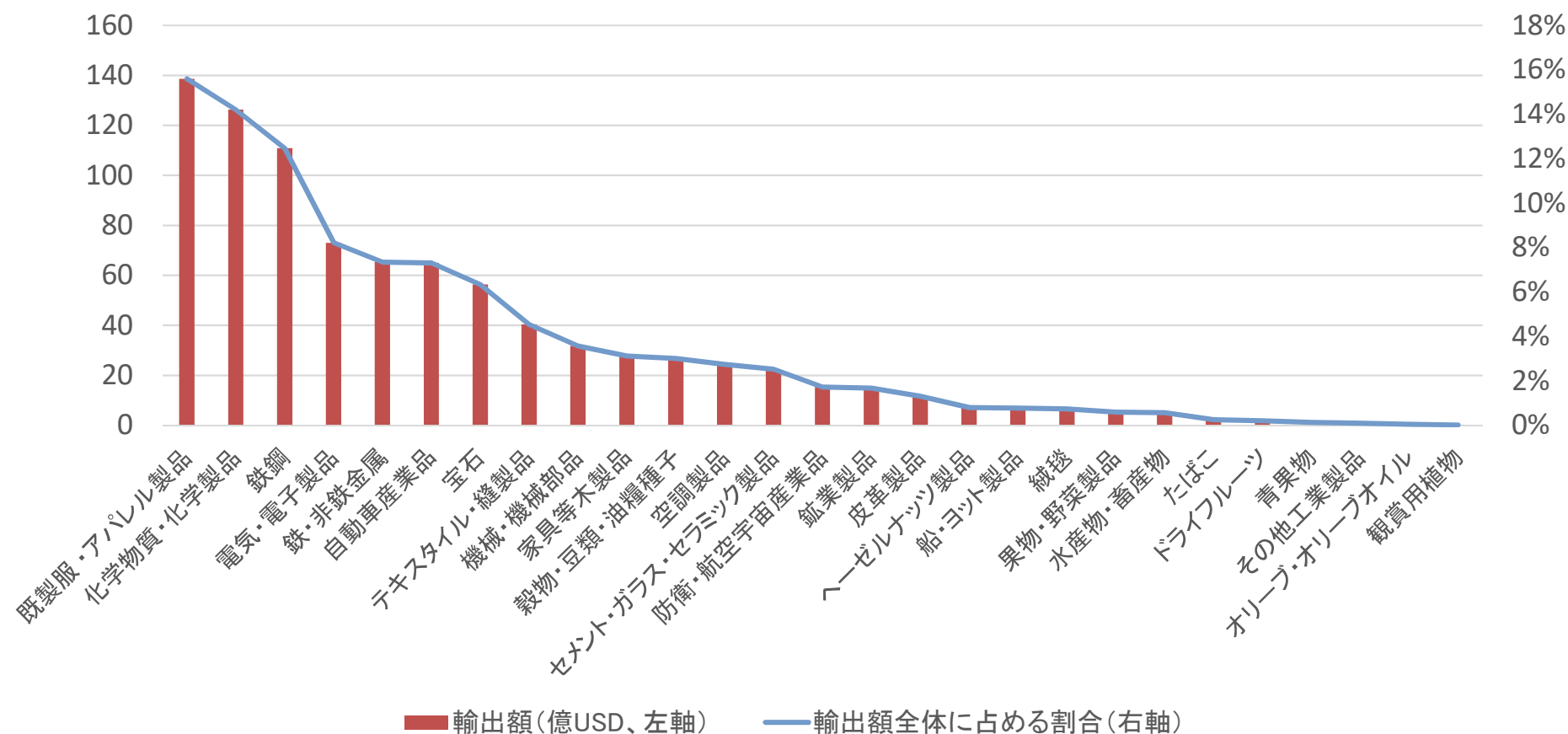
順位	品目	輸入額	割合 (対輸入総額)
1	鉱物性燃料	506.9	18.7%
2	ボイラー・機械類及び部品	309.7	11.4%
3	鉄鋼	276.2	10.2%
4	電気機器及び部品	199.7	7.3%
5	プラスチック製品	175.9	6.5%
総額		2,714.2	

出典:トルコ統計庁

【参考】 イスタンブールの輸出

- 2021年のイスタンブールの輸出額は、コロナ禍前の水準を上回る(2019年:約888億米ドル、2020年:約828億米ドル、2021年:1,088億米ドル)。
- 化学製品、鉄鋼等金属資材、電気・電子製品や自動車産業品等の重工業製品が半数以上を占めるが、既製服、テキスタイル製品や宝石も多く輸出されている。

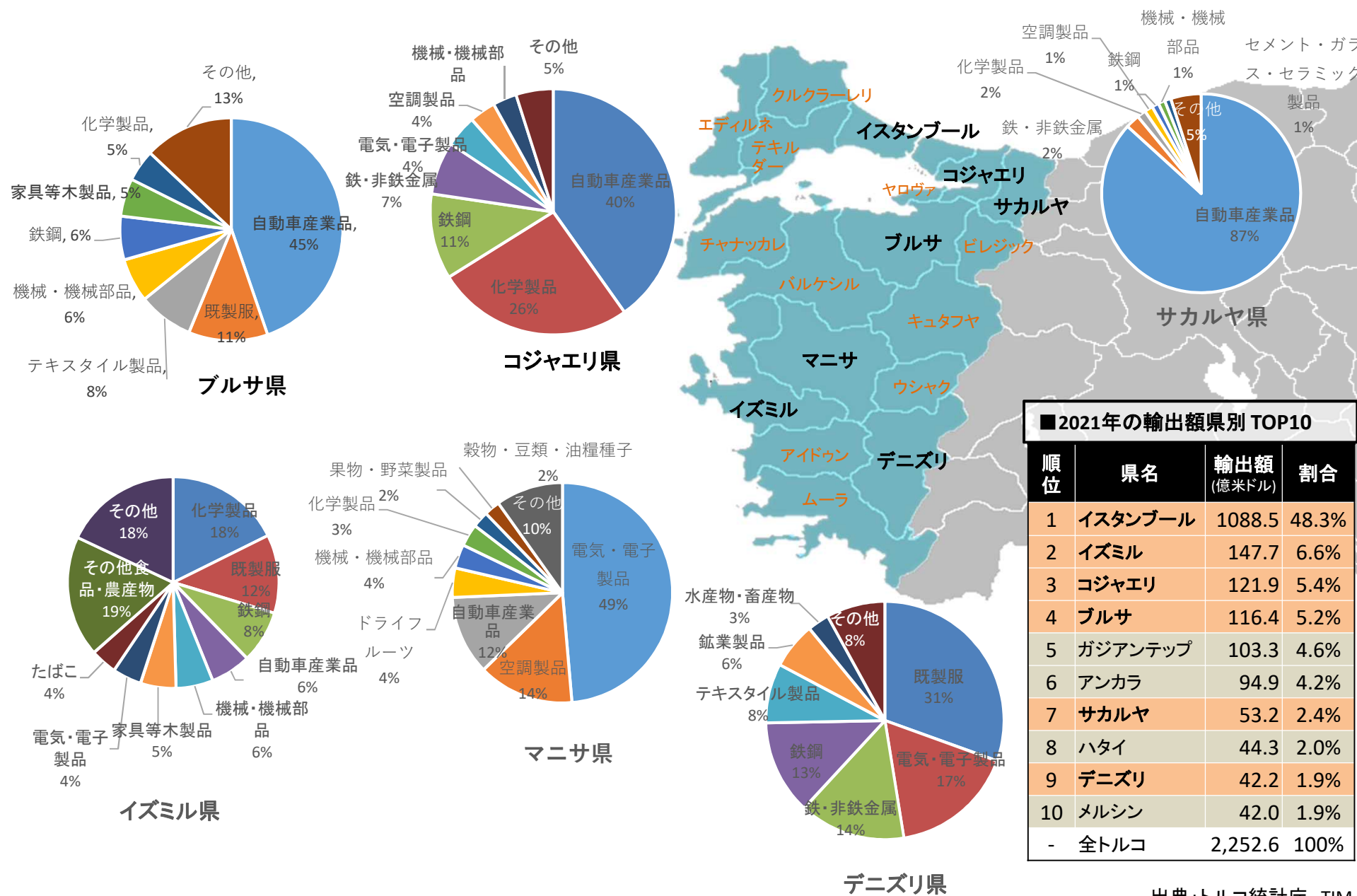
＜イスタンブールからの輸出品の内訳(2021年)＞



出典:トルコ統計庁、トルコ輸出業者評議会(TIM)

【参考】 総領事館管轄内主要県の輸出額と主な内訳(※内訳はイスタンブールを除く)

- 輸出額トップ10県のうち6県が総領事館管轄内に所在(管轄18県の輸出額合計は74.3%)。

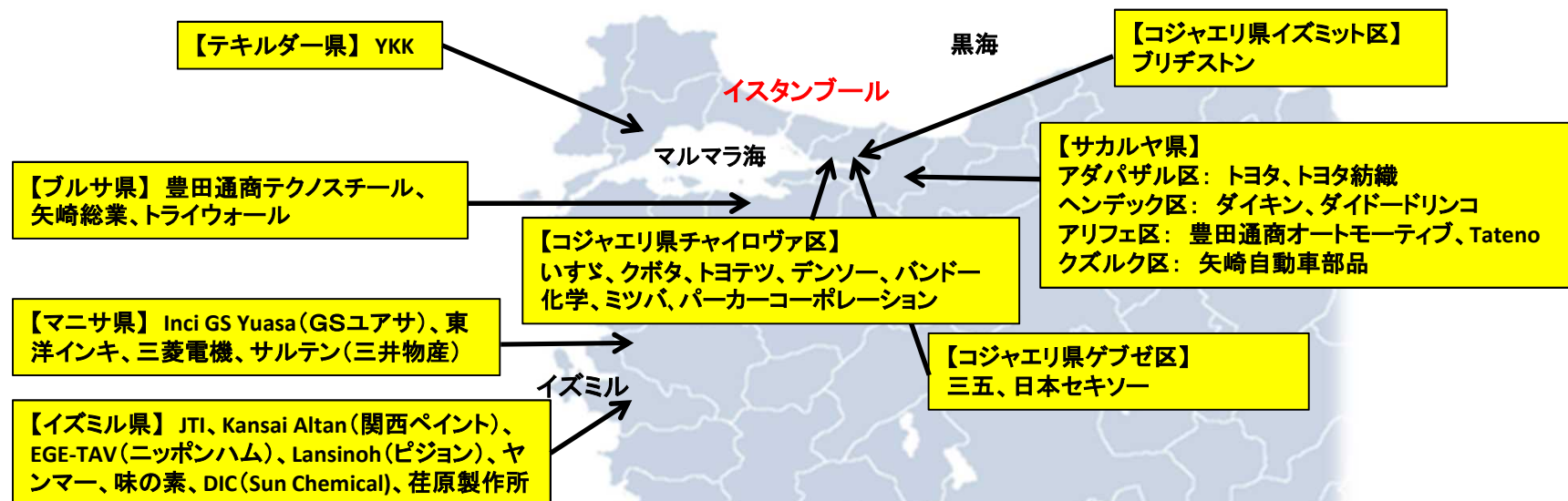


5 日系企業の進出

- ◆ トルコに進出している日系企業の約90%がイスタンブール及び周辺地域に集中。
- ◆ イスタンブール、コジャエリ、イズミル等在イスタンブール総領事館管轄県に所在する日系企業拠点は232社(当館調べ。2021年10月時点)。
イスタンブール日本人会加盟企業数: 75社(2021年10月時点)。
- ◆ 商社、金融、製造業、物流、サービス部門等幅広い分野の企業が進出。
- ◆ 中東、北アフリカ、東欧等の周辺地域をカバーする拠点も増加。

【イスタンブール周辺(県内除く)の日系製造拠点の分布】

日系製造拠点は、イスタンブール県内も含めマルマラ地域に集中している。



【参考】 日系企業による近年の主な動向

企業単独での新会社設立や事務所開設に加え、トルコ企業への投資やトルコ企業との合併企業設立等もみられる。

投資時期	企業名	形態	概要
2019年 2月	トヨタ	新工場稼働	ハイブリッド・カローラ生産のため新工場を設立し、新規投資(約2.3億ユーロ)を実施。
2019年 2月	セコム	JV設立	チャルック・ホールディング傘下のアクティブ銀行とセコムが、警備事業を中心とするJVを設立 (Secom Actif Yatirim A.S.)。出資比率は50:50。3月、警備事業を行うKent Güvenlik社を買収。
2019年 3月	商船三井	事業連携	浮体式発電設備である発電船の建造・保有・操業に従事するKarpowership社 (Karadeniz Holdingの中核企業)と、LNG発電船事業でパートナーシップを構築。8月にモザンビーク向けのLNG発電船(120MW)事業を発表。
2019年 4月	GSユアサ	第三工場稼働	インジGSユアサ社 (インジ・ホールディングとGSユアサのJV) が、EUへの輸出増大のため、環境対応車向けの高性能鉛蓄電池 (バッテリー) 製造工場を増設。これにより、同社は年間700万個の生産能力を獲得。
2019年 4月	日本ペイント	M&A	トルコの建築用・工業用塗料市場でトップシェアを有するベテック (Betek)・グループの株式取得 (95.9%、取得価格は14.07億トルコリラ)、子会社化。主力ブランドはFilli BoyaとFawori、断熱材 (ETICS: 外断熱システム) も手がける。
2019年11月	ホンザキ	M&A	業務用厨房機器大手のホンザキがトルコの同業種大手Oztiryakiler社の株式を28.6%取得し関連会社化。新興国での商圈拡大を狙う。今後3年間で株式を追加取得し、51%の株式を取得し子会社化する予定。
2019年12月	ハマックス	JV設立	ボルトやナットを製造するハマックス社 (長崎県) がアテシュ・チェリク社とのJVハマックス・ヨーロッパ社をイズミルに設立、風力発電タービンの高圧ネジ及びボルト部品生産を予定。
2020年 5月	双日	病院事業	建設大手ルネサンスグループと共同で参画する「松と桜都市病院」(イスタンブール) の運営が開始。約2,000億円の総事業費のうち、約300億円を双日が投融資。日系金融機関と日本政府系融資。
2020年 6月	パーカーコーポレーション	現法設立	機械、化成品、産業用資材等の製造販売を行うパーカーコーポレーショングループが、チェコ共和国法人67%、日本法人33%の資本所有割合でトルコ法人を設立。
2020年 7月	JFEスチール	JV設立	オヤック・グループ傘下アタル社とのハサンチェレビ 鉱山採掘及び鉄濃縮ペレット化加工プラント事業に参画。JFEスチールの出資は14.9%。総投資額7.66億米ドル (JFEスチール出資分: 1.15億米ドル)。
2021年 4月	荏原製作所	M&A	トルコのポンプメーカーVansan Makina Sanayi ve Ticaret A.S. (バンサンマキナ社)とVansan Makina Montaj ve Pazarlama A.S. (バンサンモンタージュ社)を傘下に持つÇigli Su Teknolojileri A.Ş. (シグリス社)の全発行済株式取得にかかる買収を完了。
2021年 4月	宇部興産	駐在員事務所設立	ドイツ子会社を通じて、同社として中東地域で初めての化学事業拠点となる駐在員事務所を設立。
2021年 5月	バリュエンスホールディングス	現法設立	バリュエンスインターナショナルヨーロッパ (パリ) を通じて、ブランド買取「なんぼや」がトルコに進出し、「NANBOYA Istanbul Göztepe」をプレオープン。
2021年 7月	日本郵船	自動車輸出港稼働	オヤック・グループ傘下のオヤック港湾運営会社とのJVによりイズミット湾に建設した自動車輸送専門の港湾ターミナルが稼働。出資比率は45 (日本郵船) : 55 (OYAK)。
2021年 7月	日立グローバルライフソリューションズ	JV設立	トルコ白物家電大手のArçelik (コチ財閥傘下) と合併会社Arçelik Hitachi Home Appliances B.V.を設立し、営業を開始した旨発表。日立ブランド製品の欧州や北アフリカにおける販売拡大等を図る。
2021年10月	日立造船	インフラ稼働	日立造船の100%子会社Hitachi Zosen Inovaとトルコ企業 (マクヨル社) のJVが受注した、イスタンブールのごみ焼却発電施設 (欧州最大規模) 建設が稼働開始。出資比率は51 (HZI) : 49 (マクヨル社)。

※ 共同通信、時事通信、朝日新聞、日経新聞、フジTVのマスコミ各社も支局を開設。

出典: 各社プレスリリース、各社聴き取り等